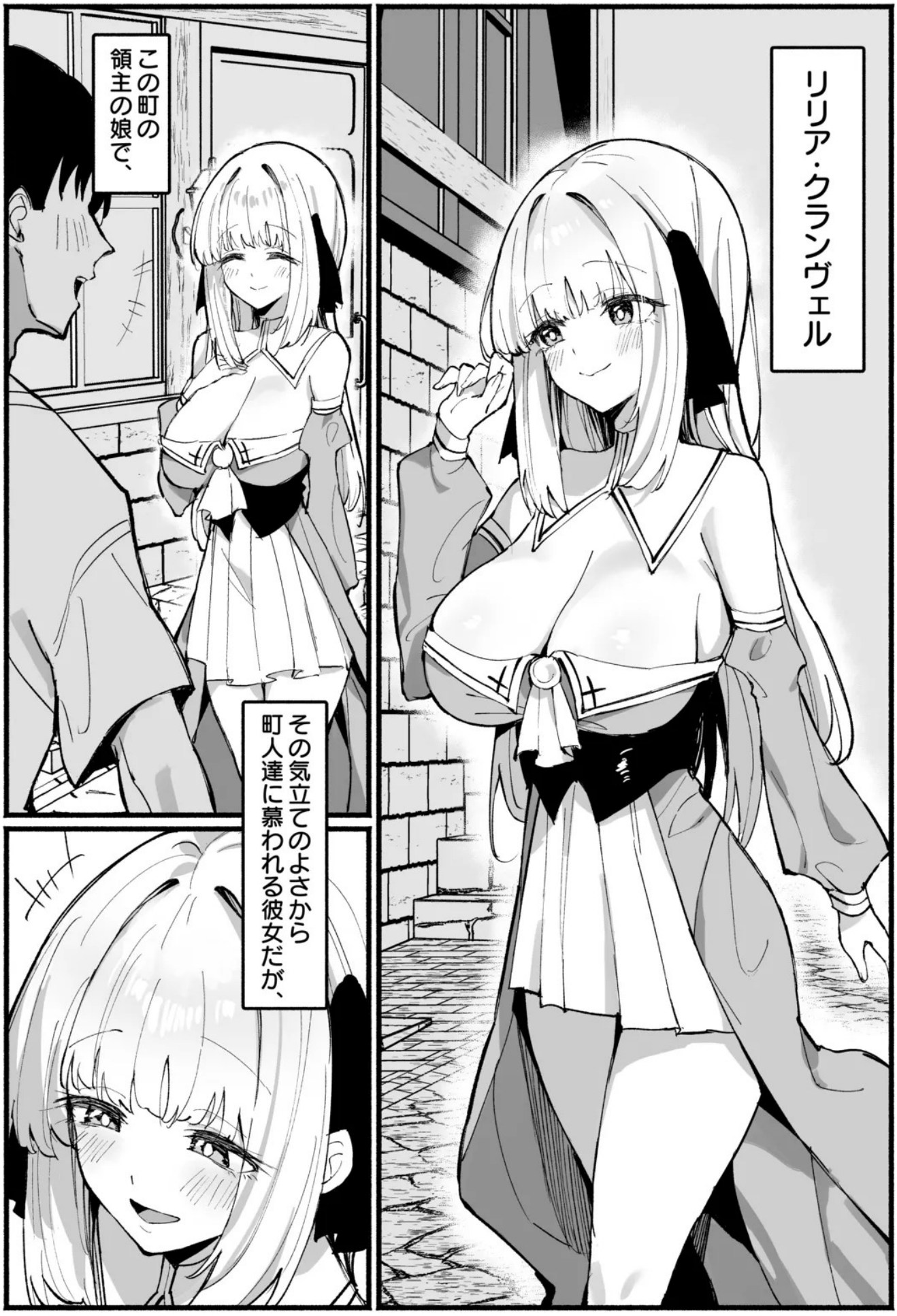
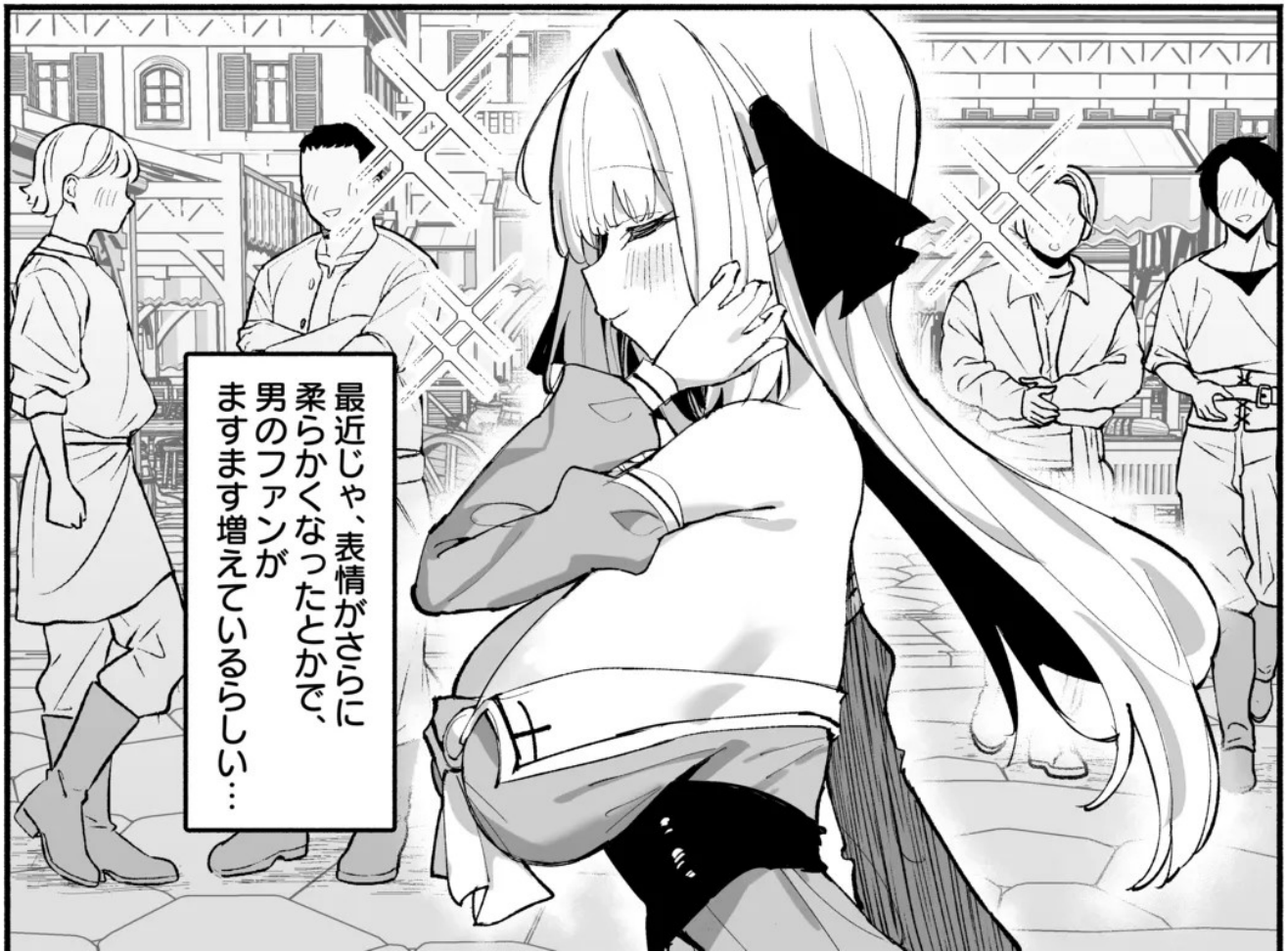

お嬢様完全敗北。2
～男達の憧れの貴族娘が、いつでも飼い主ち○ぽを受け入れるようになるまで～
本文48P
うなハウス


リリア・クランヴェル
この町の領主の娘で、
その気立てのよさから町人達に慕われる彼女だが、


なんの因果か、
授かったスキルによって
俺は彼女の身体を
モノにすることができた
はーっ♡
はー♡


最近じゃ、表情がさらに
柔らかくなったとかで、
男のファンが
ますます増えているらしい…

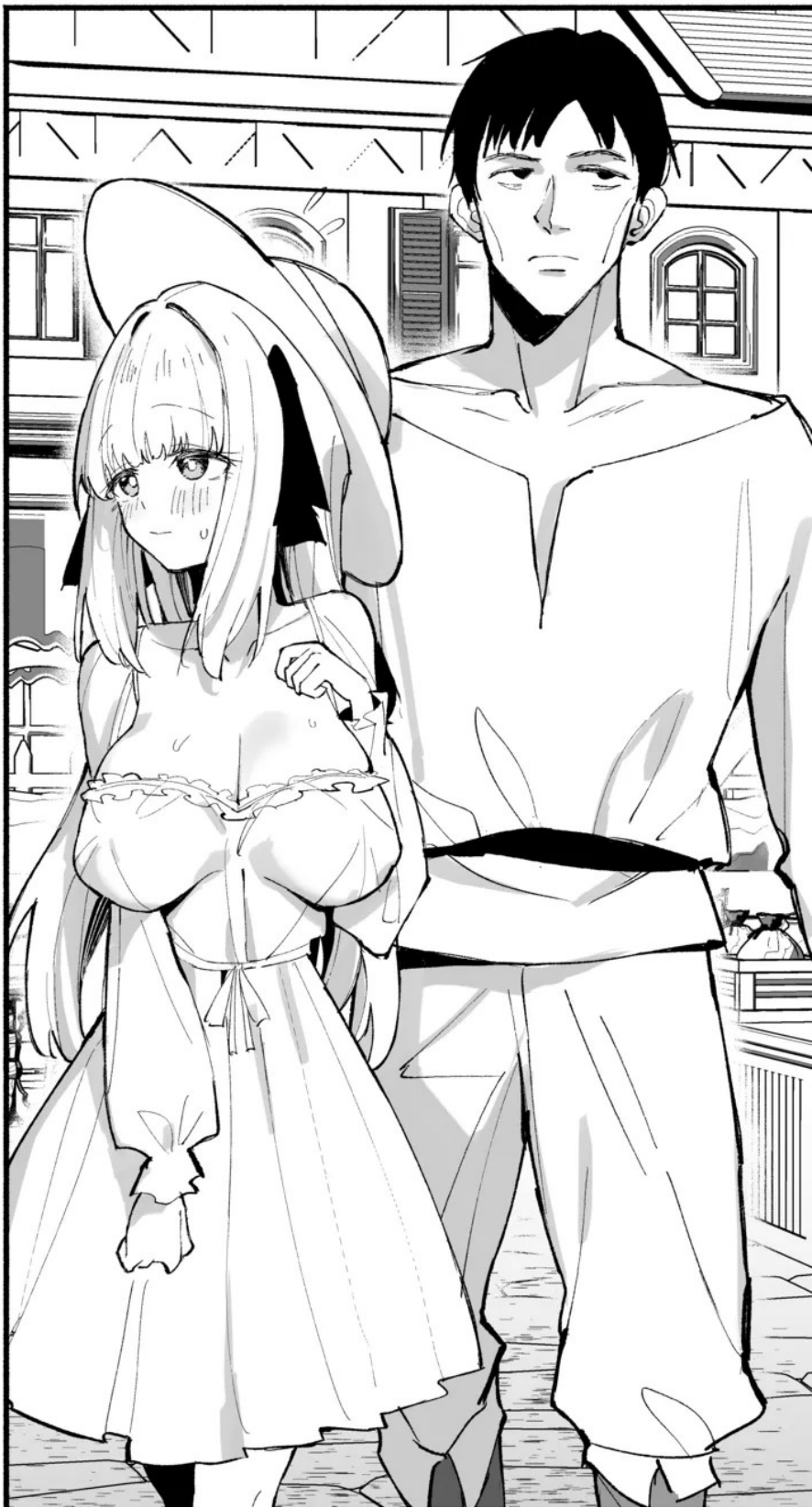
そんな彼女の
普段の町人達との
触れ合いに、

俺もついていって
みることにした――









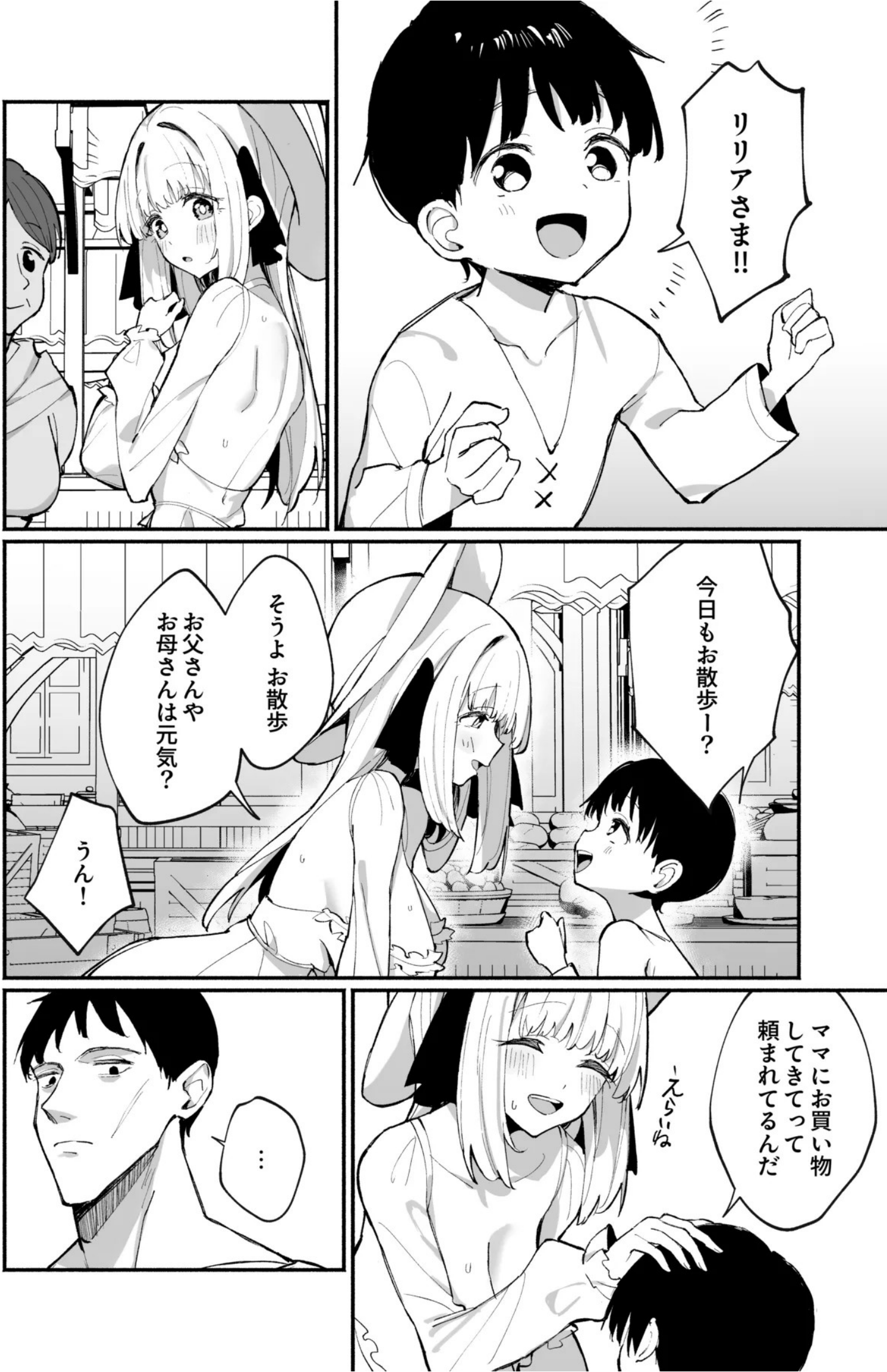

あら、リリアちゃん!!
今日も
かわいいわねぇ〜
い、いえ
そんな…
いつも
ありがとう
ございます
おばさま…
ザワ
ザワ


それで、
その後ろの方は？

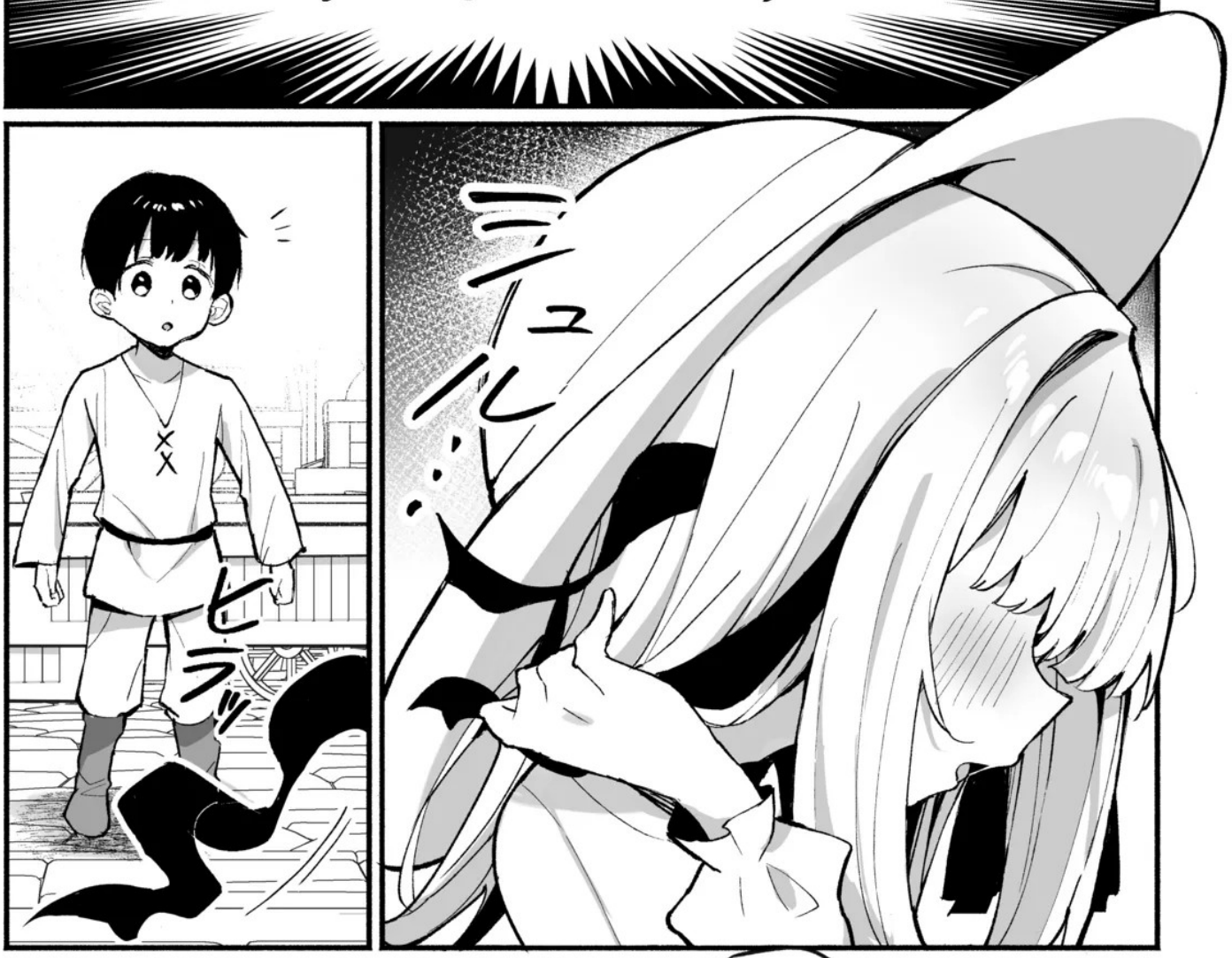

なんか乳首の位置が…
気のせいだよな…
ヒソ
ヒソ


リリア様、
いつもよりもさらに
色っぽくないか…？
ヒソ


こ、この人は…
ニコッ
リリア様の護衛です
領主様に頼まれて
おりまして…
私のことはどうか
お気になさらず
あら、
そうなの…？
リリアちゃんはねぇ
この町みんなの
娘みたいな
ものなんだから!!
しっかりと!!
守ってやって
くださいな
ええ、
それは…
もちろん
あー!!


リリアさま!!
今日もお散歩ー?
そうよ お散歩
お父さんや
お母さんは元気?
うん!
…
ママにお買い物
してきてって
頼まれてるんだ
えらいね

# ラッキースケベ

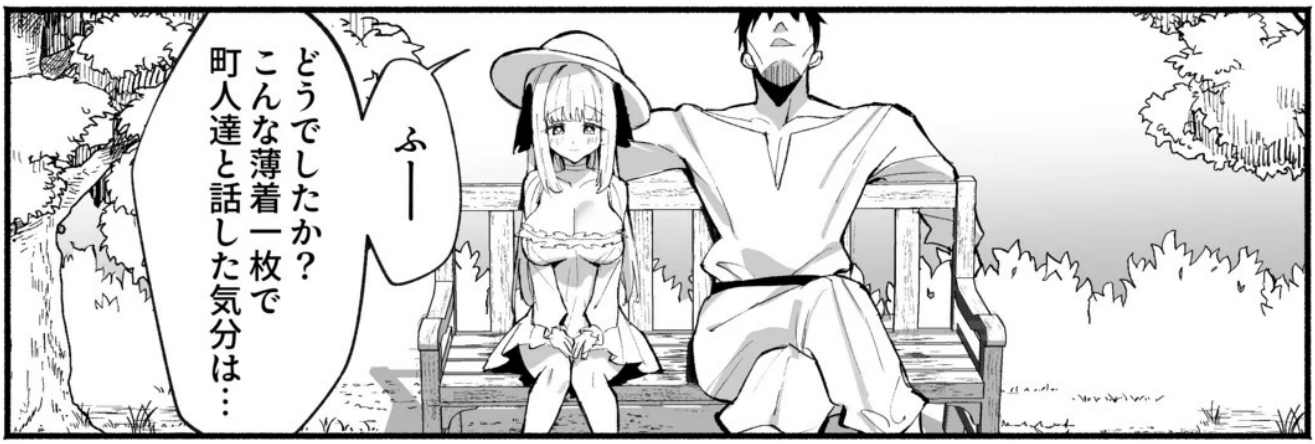




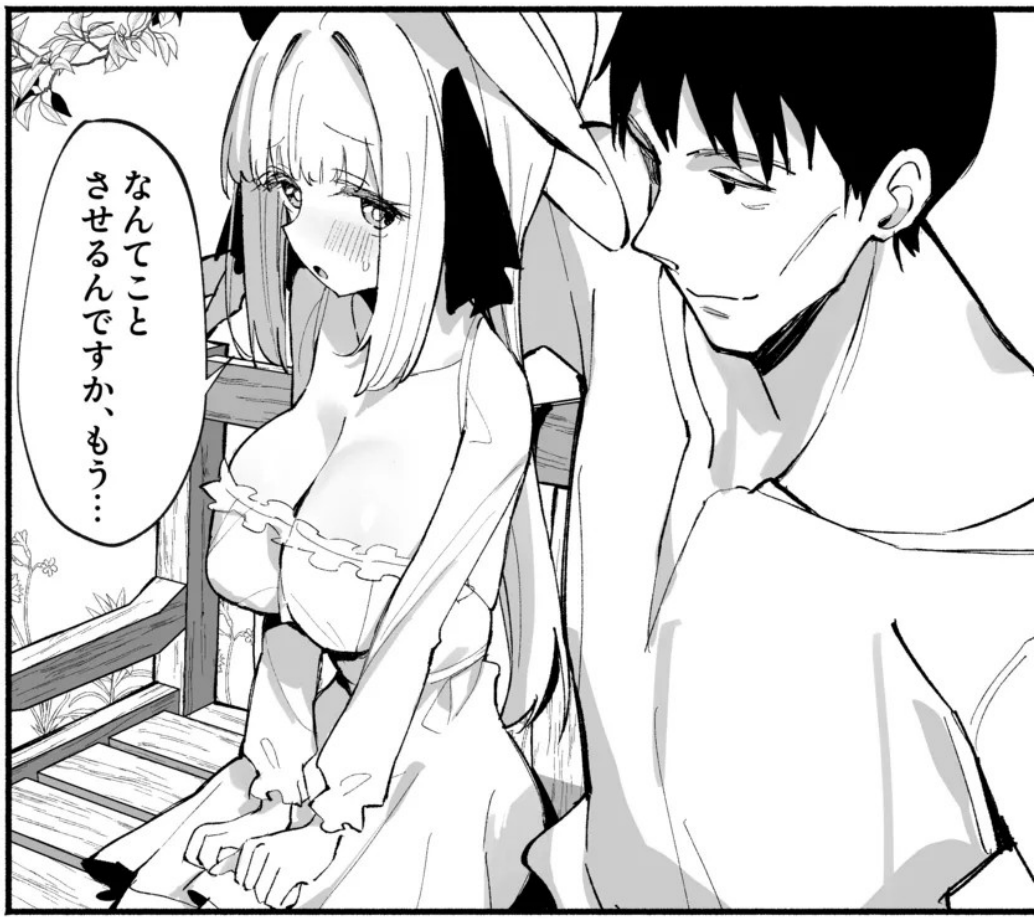


ありがとう♥
優しい子だね
…っ!?
トロ…♡
ドキッ
ドキッ
すっごい視線…♥

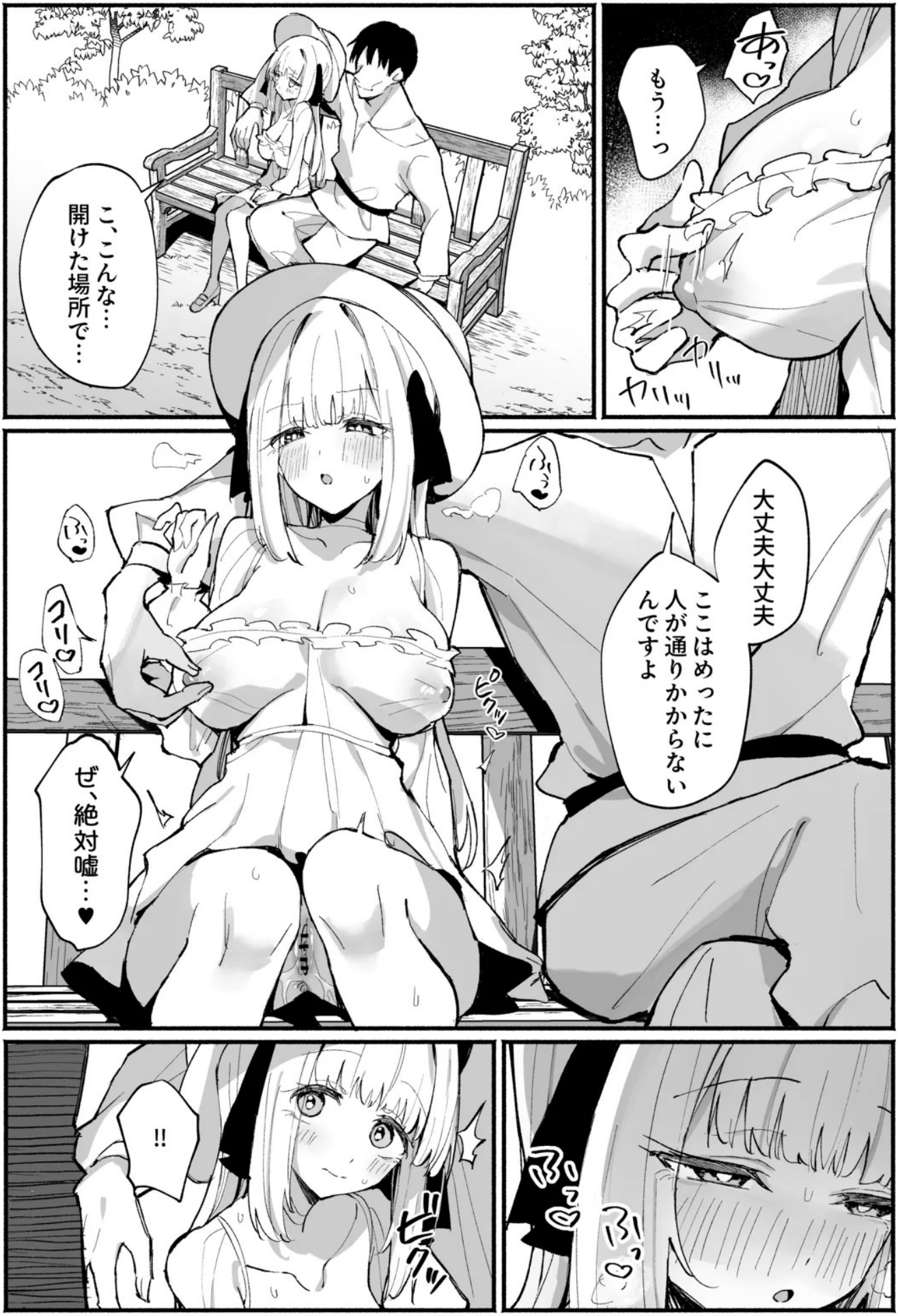

ぎゅっ
キュッ
このことは…お父さんとお母さんには内緒よ
こくっこくっ

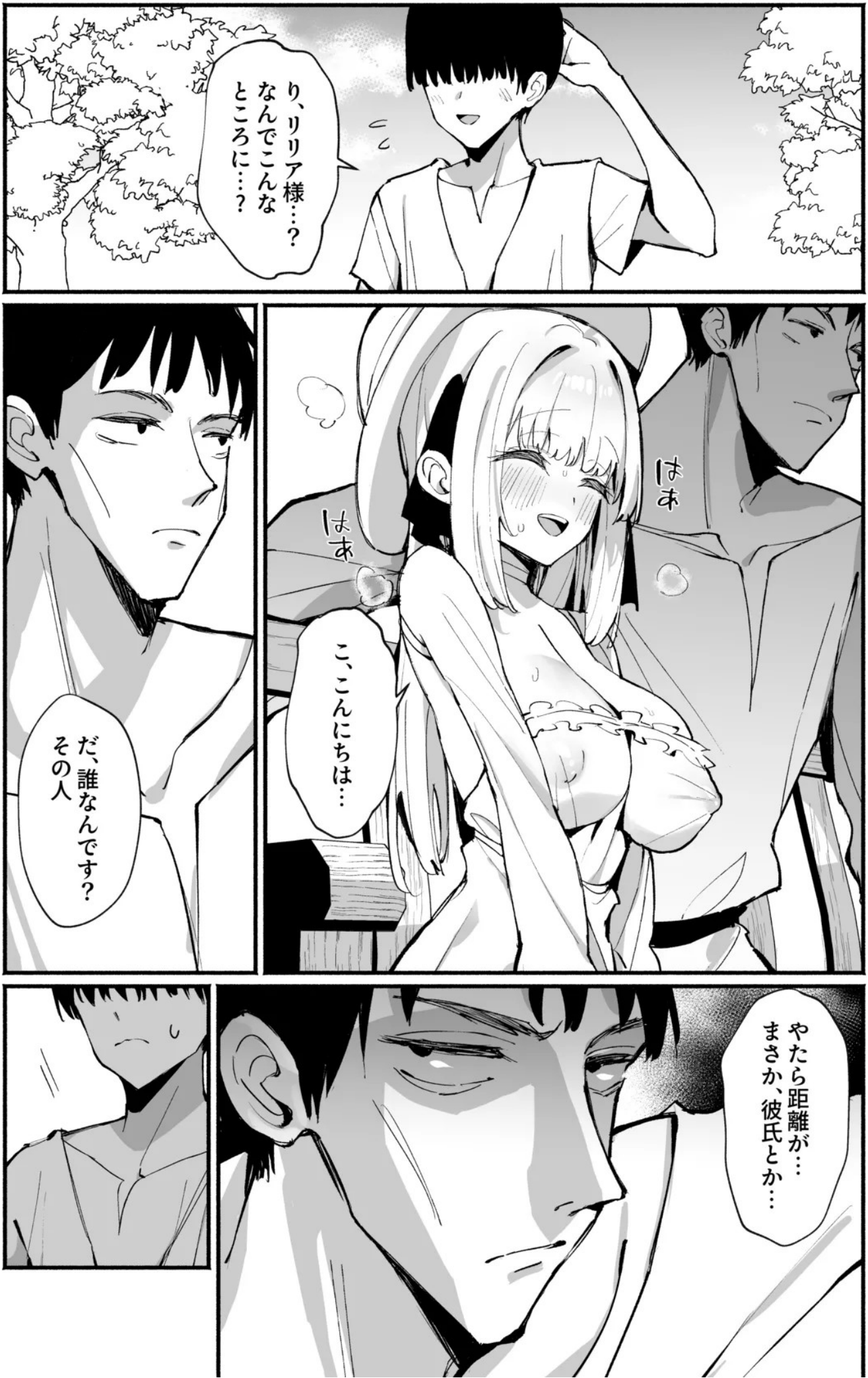

ふーー
どうでしたか？
こんな薄着一枚で
町人達と話した気分は…



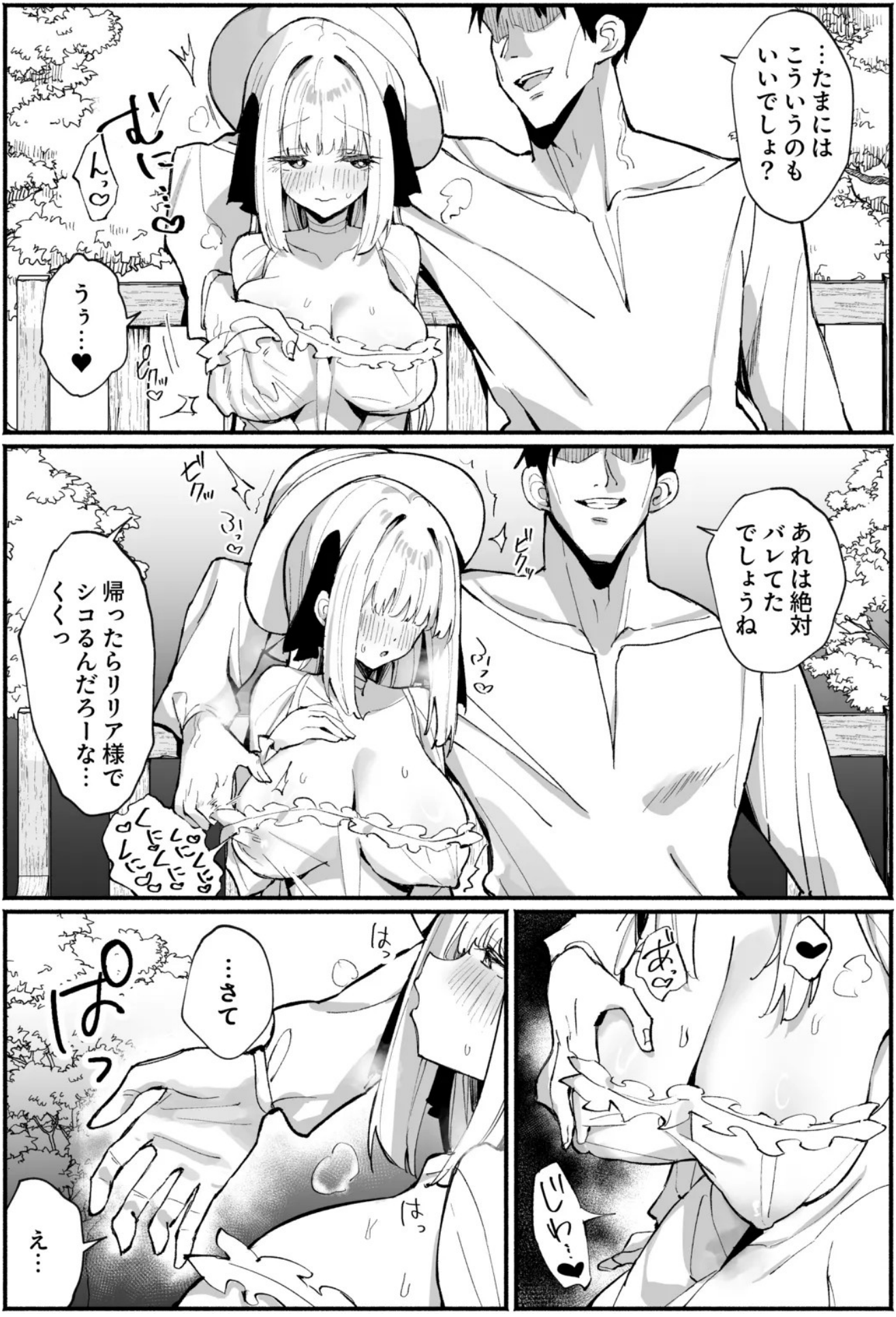

なんてこと
させるんですか、もう…

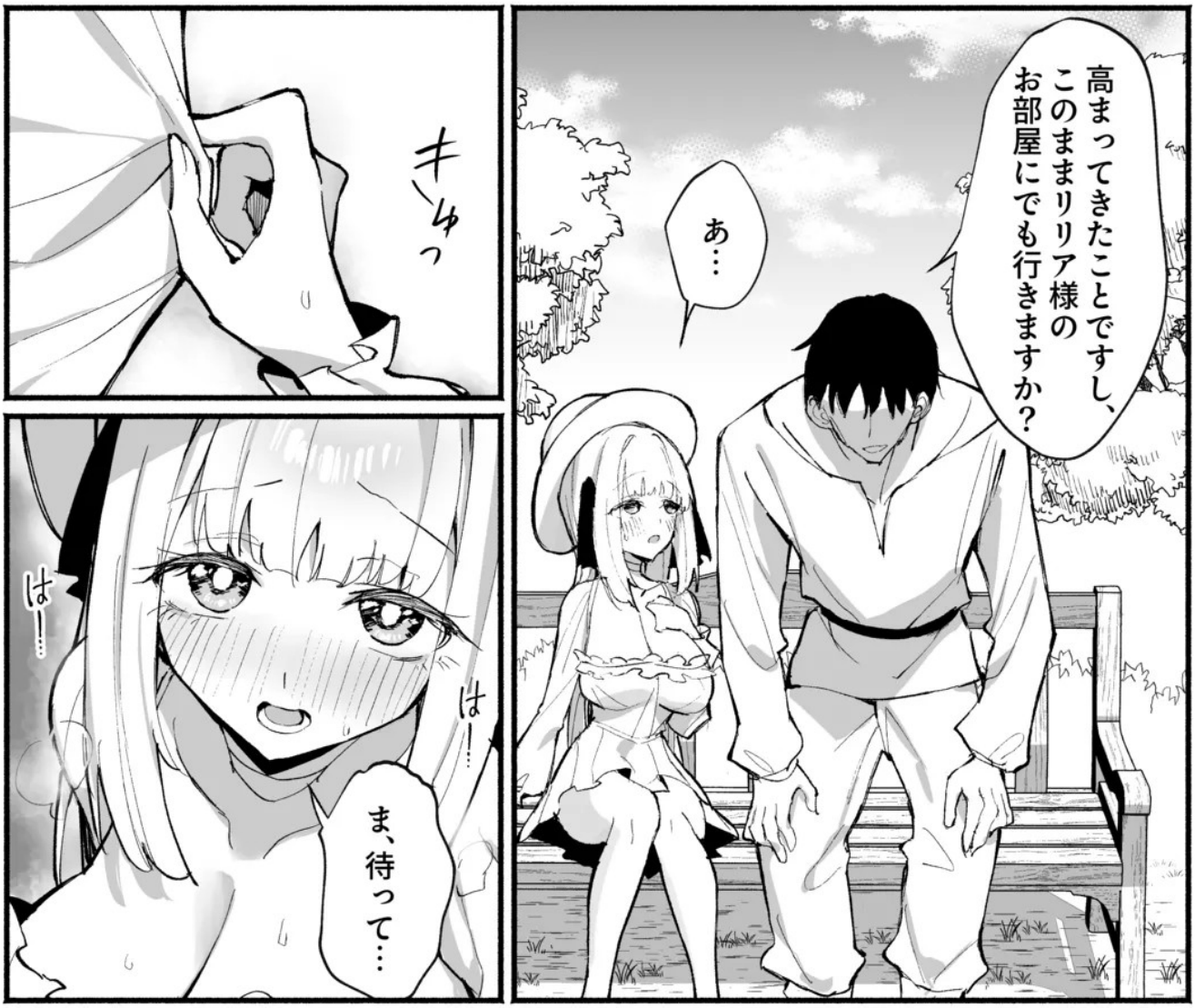

こんなに
乳首たたせて…
バレてたんじゃ
ないですか？
ふっ
ん♡
特にあのガキ、
一生忘れられない思い出に
なったでしょうね


あっ♡
もう…っ
ヤバッ
ヤバッ
こ、こんな…
開けた場所で…
大丈夫大丈夫
ここはめったに
人が通りかからない
んですよ
ふっ
ふっ
フリ♡
フリ♡
ピクッ♡
ぜ、絶対嘘…♥
!!
ピクッ
ふっ♡
ふっ♡


り、リリア様…？
なんでこんな
ところに…？
はあ
はあ
こ、こんにちは…
だ、誰なんです？
その人
やたら距離が…
まさか、彼氏とか…


ご、護衛の人なんです…
ビンビン
ビンビン
ビンッ
わ、私のことは気にしないで大丈夫ですから…
はぁ
はぁ
そ、そうですか…とにかく気をつけてくださいね…


…たまにはこういうのもいいでしょ？
むにゅ
んっ♡
うぅ…♥
あれは絶対バレてたでしょうね
ビクッ
ぶっ♡
ゾクゾク
帰ったらリリア様でシコるんだろーな…くくっ
レロレロレロレロ
じわ…♥
あっ♡
…さて
はっ
ぽっ
え…


高まってきたことですし、
このままリリア様の
お部屋にでも行きますか？
あ…
キュっ
は！…
ま、待って…

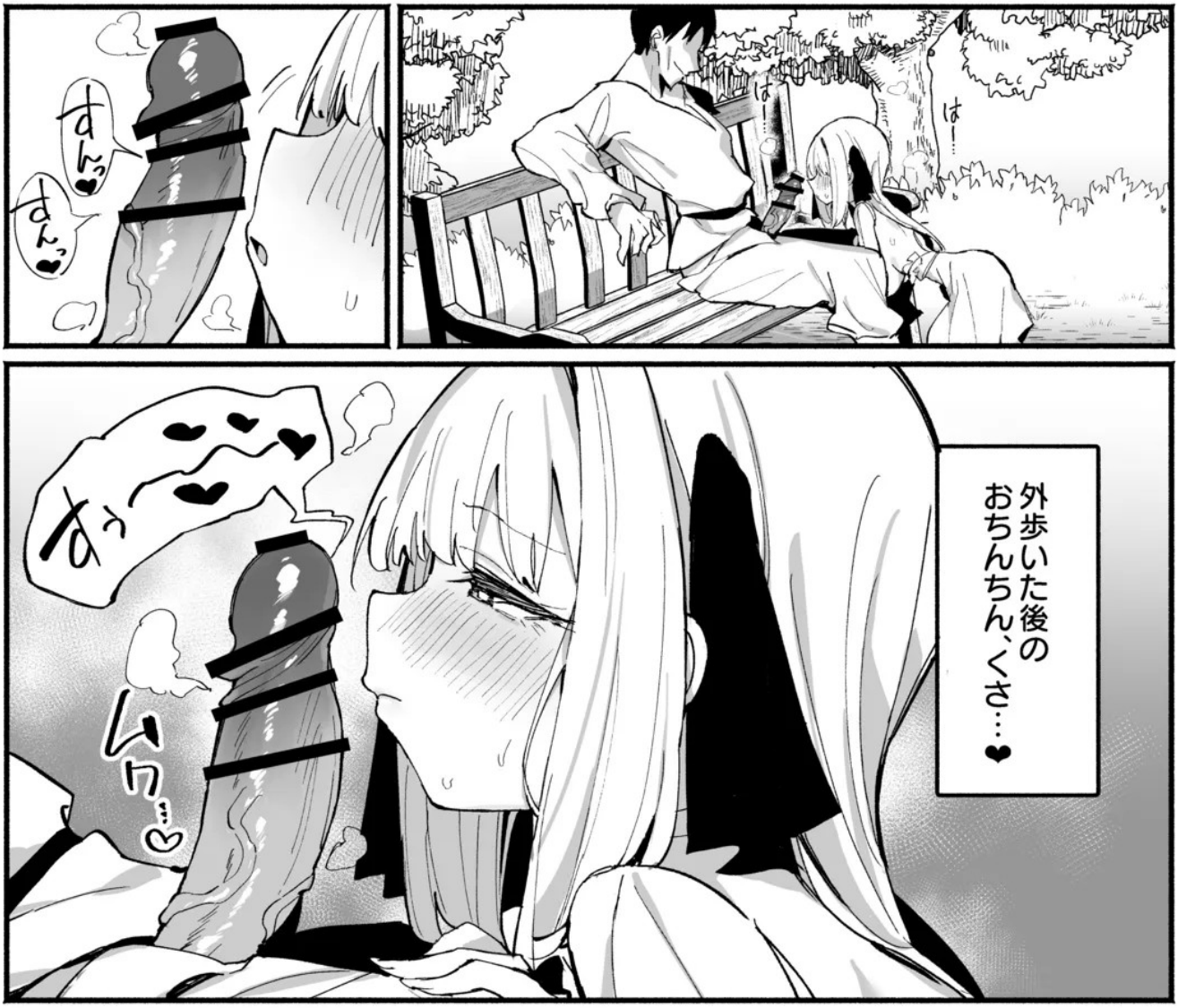

まったく、
仕方のない
ひとですねえ…
ニィ


チンポ奉仕してくれたら、ご褒美に
ここでハメてあげますよ
まずは…まだ
チンポの準備が
できてないので
わかりますよね？


ビクン
ビクッ
はー…
あれ
はー…
ぷるんたっ♡
私…
…はい♥
ス…
パサ…
はっ♡
はっ
何してるんだっけ…？
ぬるっ♡


すりすり…
頭
ボーっとして…
ふぅ
ふぅ
ちゅっ
ちゅ
なるるん


何も
わかんない…♥
へっ♥
あー…
へっ♥
いい景色
ですね…


すんっ♥
すんっ♥
は…
は…
外歩いた後のおちんちん、くさ…♥
ムワ…♥


けど…
へッ♥
はッ♥
はッ♥
はッ♥
ぷちゅ♥
ぷちゅ
すきぃ…♥


ちゅ♡
ちゅっ♡
んぁ～♡
ぴくっ
ぴくっ
おぉ…♡
ぐちゅぐちゅ♡
ぐちゅ♡
ぐちゅ♡
ぬろ…♡
ぺろぺろ♡


ぬちぬち
ぬちぬち
ぬちぬち
じゅぷっ
ぢゅぷっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ふっ
ふっ
くちくち
くちくち
くちくち
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ
ぐぽっ


射精るッ!!
ビュッ
ビュクッ
ビュッ
ビュクッ
ビュッ
トロォ…♡
ぷちゅ…♡


ぐろぉ…♥
イヴァン様ぁ…♡
ご奉仕したから…
約束…


準備できてるから…
おちんちん、ください…♥
フー〜♡
フー〜♡
フー〜♡
おちんちん…♥
はッ♡
はッ♡
おちんちん
早くっ…♥♥
ちゅんっ♡
ぬちぬち♥
ぬちぬち♥
くちゅ…♡


ビクッ
はぁ…♡
ぬぷぷぷぷ…！♡
ビクッ
ぁ…
ぬぷぷぷぷ…♡



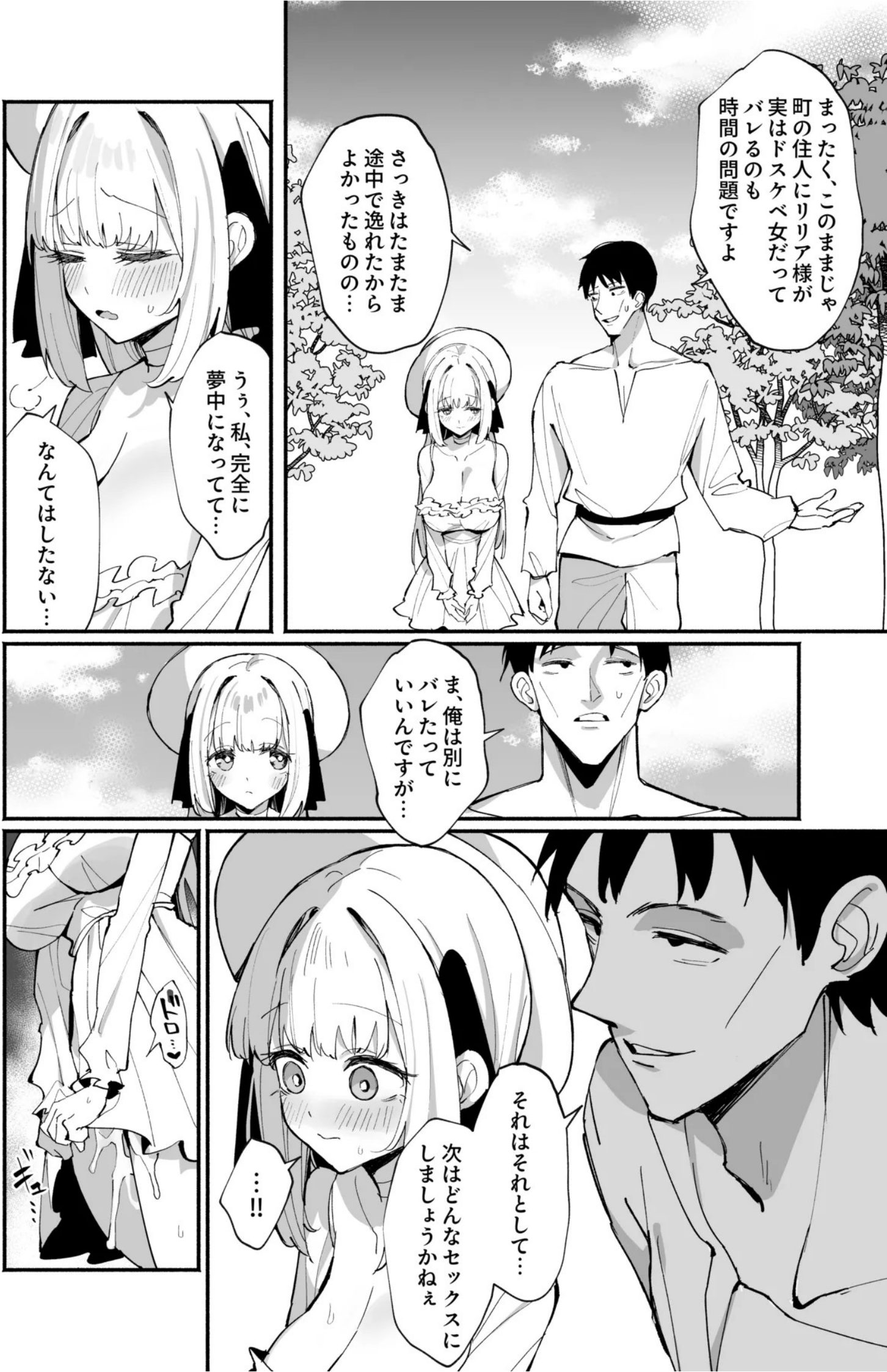

ビクッ
イヴァン様のおちんちんで入り口抉られるの…
ビクッ
へっ♡
すきぃ…っ♥


り、リリア様？
人が…
って、聞こえてないか
あ♥
ぐちっ♥
はっ♥
ぬち♥
ぐちっ♥
この顔じゃ…
ぐちっ♥
はっ♥
おちんちん♥
イヴァン様ぁ…♥
もっと、腰掴んで、
ぐっ♥て、奥までっ…♥


ぬっ♡
ぬこ♡
ぬこ♡
ぬこ


ちゅう♡
ちゅ♡
ちゅろ♡
でて…♥
でて、るう…♥♥
はぁ♡
おぉ♡
ビクッ
ビュルッ♡
ビュッ♡
ビュクッ♡
ビュッ♡
ゴポッ♡
ゴポ♡
ゴポッ♡


はっ…♥
ぺろっ♡
ぺろっ♡
ぢゅぱ…♡


まったく、このままじゃ町の住人にリリア様が実はドスケベ女だってバレるのも時間の問題ですよ
さっきはたまたま途中で逸れたからよかったものの…
うぅ、私、完全に夢中になってて…
なんてはしたない…
ま、俺は別にバレたっていいんですが…
それはそれとして…
次はどんなセックスにしましょうかねぇ
…!!
ヒクヒク…♥
ヌチュ…


はぁ
はぁ
お待たせいたしました…♥
おお、いいねぇ
むちっ♥
あのリリア様が
俺だけのためにこんな格好してると思うと興奮するわ…


本日は私、リリアがお相手させていただきます
イヴァン様は特別ですので…
私の身体を
どのように使っていただいても、構いません…♥
おっほ♥
そこまでしてくれる感じ？
それじゃ、パイズリでもしてもらおうかな♥
すっ
かしこまりました
それでは…♥
たぽっ♡


はぁ♡
ぬぷぷ…♡
はぁ♡
れぇ〜♡
にちっ♡にちっ♡
にちっ♡
にちっ♡にちっ♡
しかし、最初はあんなに反抗的な目してたのに今じゃこんな…リリア様も変わったなぁ…


これはもう、女神様のお導きなんです…♡
は！…♡
は！♡


グチュ♡グチュッ♡グチュ♡
このおちんちんで膣壁こすられる感触、覚えちゃったんですから…


私…イヴァン様のおちんちん固くなるためだったら
フー♡
フー♡
もう、なんだってする女なんです…❤
じゅ♡
じゅっ♡
はー♡
いれたい
るるる…♡
挿れたい
このカリ首であまイキしたい…っ❤
ふっ♡
んふ♡
ちゅ♡
ちゅっ♡


もう、無理…♥
…
あー、出る出るっ…♥
ぬぽぁあ♥
リリア様…？
ぬぽ！
オイ…!!


ぱいずり…途中でやめてごめんなさい…♥
はーっ
はーっ
でも…
もう、だめ…なんです…♥
ろッ♥
ろッ♥
わたし、どうしても今の…
コ…♥
コ…♥
ねちっ…♥
ねちっ…♥
いちばんカタいときのイヴァン様チンポでイキたいんですっ…♥


リリア様…
エロくなり
すぎだろ…っ
アッ
ふっ


これ、すぐイくっ…♥
おっ
ぬぷぷ…♥


やっぱりこれ…♥
んっ♥
ぬぷ…♥


あ…♥だめ…
ぬ…♥


いく♥いく♥
イぐ…っ♥♥♥
フッ♥
ビクッ
お…っ♥
グリ♥
グリ♥
グリ♥
ビクッ


イッ♡
びゅるっ♡
びゅっ♡
びゅるるっ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
キュン♡
キュン♡
あ、あ…っ　わたし、
イキながら
イヴァン様のせいし、
注がれてるぅ…❤❤❤
ガクッ
ガクッ
ガクッ
お♡
お♡
ゴプッ♡
ゴプッ♡
ゴプッ♡


ぬぽ♡
ゴプ♡
はー♡
あは…♥
はーっ♡
イヴァン様が私の浅いところでこんな情けない射精するなんて…
はぁ
はぁ
めずらしいですね♥
ぐぽ…♡
ミルロ…♡
こ、この…っ
ピクッ…
言わせておけば…


リリア、これを付けるんだ
シャラ…

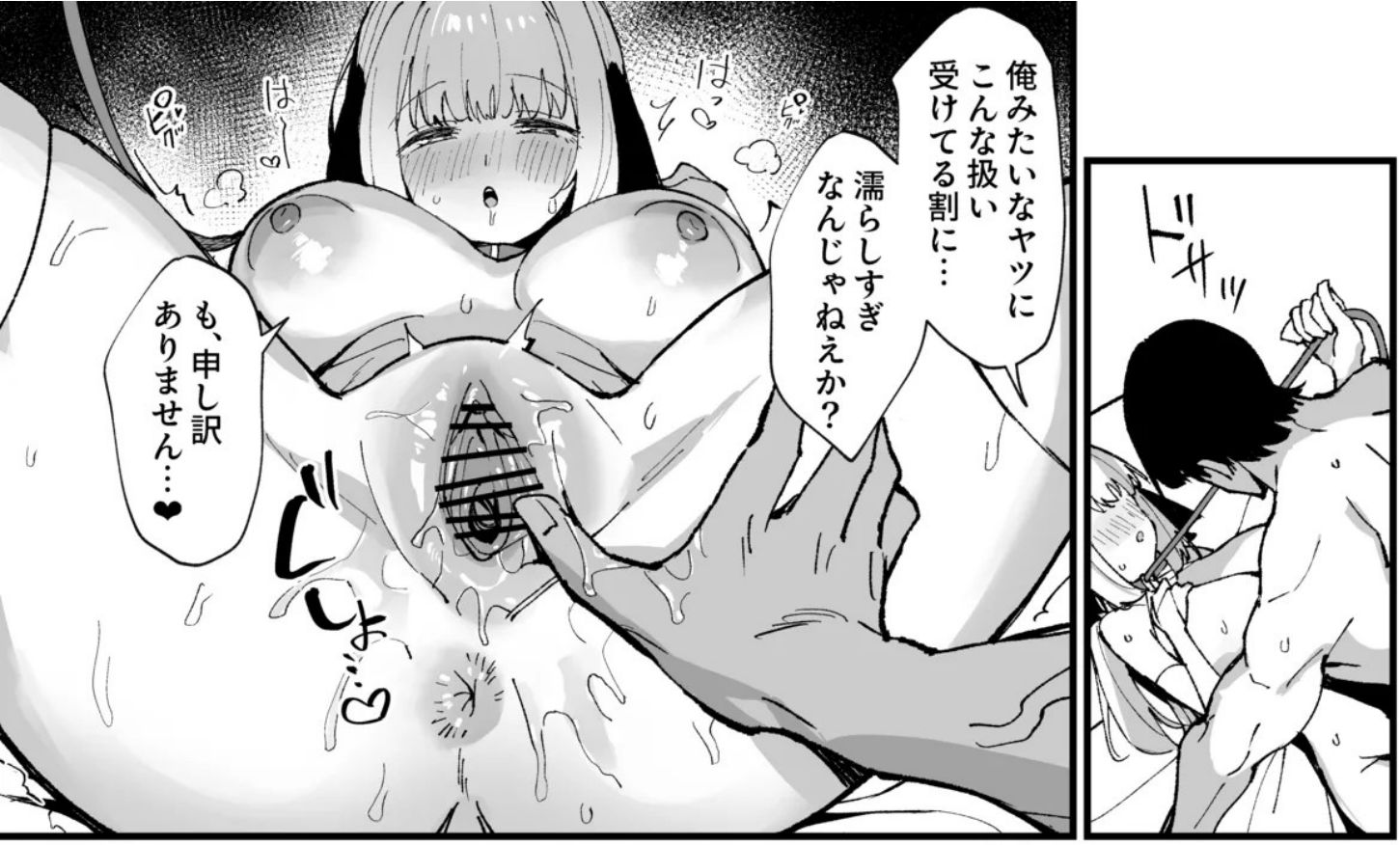

もう一度やれ
あっ♡


さっきのパイズリ、ご主人様へのご奉仕としては不合格だよなあ？
ガチャ


…はい♥


ぬっ♥
ぬぢっ♥
ぬぢっ♥
ぬぢっ♥
ぬちっ♥
ぢゅっ♥
ぢゅぷ♥
はーい♥
ぬちぢ♥
申し訳ありません
イヴァン様…♥
今度こそ最後まで
ご奉仕させて
いただきます…♥
ぷちゅ♥
ぷちゅ♥
ぷちゅっ♥
貴族のはずの私が
完全に所有物扱い…


こんな…
こんなの…
最高お…♥
おい、何
休んでやがる


俺みたいなヤツに
こんな扱い
受けてる割に…
濡らしすぎ
なんじゃねえか？
も、申し訳
ありません…♥
ドサッ
ぐしょ♡

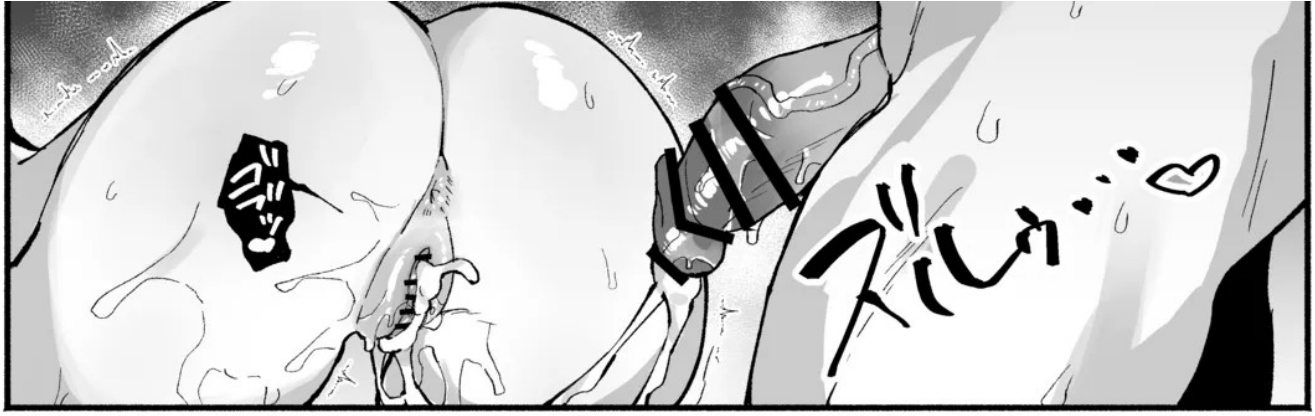

でも、イヴァン様の
おちんちん
じゃないと…♥
ご主人様ちんぽじゃないと
だめなんです♥
はー♡
どうか…この
はしたない
貴族まんこに
へこ♡
へこ♡
へこ♡
ぐちっ♡
ぐちっ♡
おしおきして
くださいませ…っ♥♥


まったく…
だいぶ俺専用性処理人形が板についてきたなぁ♥
それっ…♥
もっと乱暴にしてください…っ♥


やっぱり…♥
イヴァン様に所有物みたいにされるの好き…♥♥
まったく、俺好みになりやがって…ッ♥

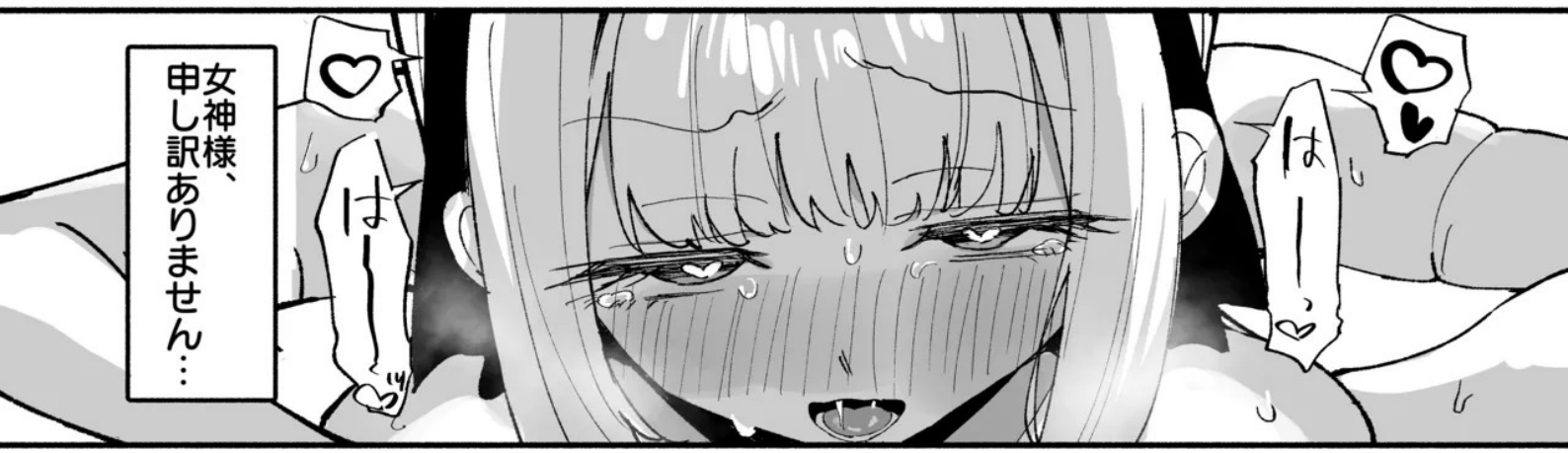

いぐっ♥イってる♥♥
イってますぅ♥♥
待っ…
今、こんなに力強く突かれたら
イきながらイっちゃ…っ♥♥♥


んぉ♡
お♡
おぉ♡
ガクッ
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
ガクッ
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡
ビクッ♡










私、もう

戻れない
みたいです…♥

# お嬢様完全敗北。2

紙版は夏コミを予定しております！

配信日:2026/4/19
サークル:うなハウス
著者:うなっち
背景アシスタント・表紙デザイン:ふかふか

無断転載、印刷、アップロード等はおやめください。